

## 第5・6学年 外国語科学習指導案

- 1 主 題 様々な国や文化の中で生きている人を知ろう
- 2 教 材 名 If the world were a village of 100 people. (世界がもし100人の村だったら)
- 3 目 標 ・ 様々な国や文化の中で生きている人と理解し合おうとする態度を育てる。  
 ・ 心に残ったキーワードを選び、英語で発表することができる。
- 4 人権教育の内容 差別と人権問題についての学習2-(2)-ア
- 5 展 開

	学習活動	指導上の留意点	評価
導入	1 挨拶をする。  2 「世界がもし100人の村だったら」クイズをする。	○ 全体に挨拶をし、天気や日付、曜日を聞く。  ○ 世界を100人の村に縮めると、子どもは何人でしょう？ 男女比はどれくらいでしょう？ 何人の人が字を読めるでしょう？ (質問にできるだけ、英語で答えるように促す。)	
展開	3 「世界がもし100人の村だったら」を見聞きする。  4 「あっていい違い」と「あってはいけない違い」に分類する。  5 メールに込められた思いや、世界の人々が幸せに暮らしていくためには、どんな考え方が必要かワークシートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ALT の範読と教師の翻訳を交互に聞かせる。</li> <li>・ 電子黒板で写真やイラストを提示し、状況を想像しやすくする。</li> <li>・ イラストのキーワードを英語で復唱させる。(GENDER・AGE など)</li> <li>・ 黒板にイラストを貼り、分類しやすくする。</li> <li>・ 分類した理由を聞く。</li> <li>・ 考えたことを発表させるとともに、心に残ったイラストのキーワードを英語で発表させる。(グループ→全体)</li> <li>・ 世界的な視点や自分自身の生活をふり返りながら、考えを書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に音読活動に取り組んでいる。(観察)</li> <li>・ 興味をもったキーワードをグループや全体の場で発表することができる。(発表・ワークシート)</li> </ul>
まとめ	6 ふり返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業全体をふり返り、友だちの発表で心に残ったことがあれば書くよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業をふり返り感想を書いている。(発表・ワークシート)</li> </ul>

ワークシート

If the world were a village of 100 people. 世界がもし 100 人の村だったら

名前 \_\_\_\_\_

1 「世界がもし 100 人の村だったら」を聞いて、何を考えましたか

2 世界中の人々が幸せに暮らしていくには、どんな考え方が必要でしょうか

3 授業を振り返って

- ・ 自分の考えをもつことができた。 ( 5 4 3 2 1 )
- ・ 今日の授業で新しい気づきがあった。 ( 5 4 3 2 1 )
- ・ 友だちの考えに納得することができた。 ( 5 4 3 2 1 )

感想をまとめましょう

## 授業の様子



↑大型モニターで提示



↑ALTの範読



↑教師の翻訳と説明



↑違いを分ける



↑児童の発表



↑ワークシートに記入

## 児童の感想

- ・ 私たちが今、勉強したりご飯を食べたりしている間に、世の中には苦しんでいる人がいるんだと改めて感じました。なぜ同じ人間なのに平等ではないの、という疑問がうかびました。
- ・ 私たちのように幸せに暮らしている人もいるし苦しんでいる人もいると改めて感じました。そして、その苦しんでいる人に少しでも支援を送って、平等な世界にしたいと思いました。
- ・ 私たちが、ご飯を食べたりきれいな水が飲めたりすることは、決して当たり前ではないと思いました。私たちが大人になったら差別のない世界にしたいです。
- ・ ものの大切さ、人の大切さ、土地の大切さなど、今まであまり意識していなかった大切さを知りました。今の自分は、他の苦しんでいる人たちに比べて幸せだと思いました。
- ・ 私は、戦争やいじめが嫌いです。だから私は、いじめや戦争をなくすように心がけたいです。今、苦しんでいる人を助けたいです。
- ・ 100人いる中で色々な意見が出て、分かれることもあると思います。人それぞれの特徴は、とても美しいもので、その人にしかない個性だと思うからです。
- ・ 自分が生まれた日本は、恵まれていると思いました。同じ「人」なのに差ができてしまう今の社会は変えないといけないと思いました。
- ・ 平和であることはすごいことだと思った。人々の暮らしはこんなにも違うと改めて思いました。何十億人という中で、日本の平和なところに生まれてよかったと思った。
- ・ 争いごとがなく、まずしい国もない、平和な世界になってほしい。そのために、できることがあったら頑張りたい。まずは、人それぞれ考え方が違うから、認め合い、人の考えを大切にしたい。
- ・ 自分は幸せな方だと思った。きれいな水を飲めない人がいると知って、不平等だと思いました。もっと考えて、自分にできることはきちんとやって、こういう問題をもっと身近にするべきだと思いました。
- ・ 世界中のみんなが平等だったら、もめごとが起こらないのかもしれないと思った。1番大切なことは、自分との違いがあっても認め合い、許し合えることだと思った。